

めぐみイエス・キリスト教会

2020年1月19日(日)第三主日礼拝
週報「通算第490号」



2020年標題聖句

第I テサロニケ5章16節～18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年1月19日 第三主日礼拝

礼拝 午前10時

司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌183「悩める人々」 p. 266

【交読文】 No.48 イザヤ書第35章 p. 917

【賛美Ⅱ】 新聖歌282「見ゆるところによらず」 p. 450

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.11 「ラザロ」

【聖書朗読】 第Ⅰテサロニケ5章16節～18節

【祈 禱】

【説 教】 《2020年標題聖句そのⅢ》 鈴木 竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※聖書箇所「第Ⅰテサロニケ5章16節～18節(新約p. 367下段)

5:16 いつも喜んでいなさい。

5:17 絶えず祈りなさい。

5:18 すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

●ポイント1. 感謝出来ることを感謝することとは？

※詩篇118篇28節～29節「イスラエルの感謝の式文」(旧約p.942上段)

118:28 あなたは、私の神。私はあなたに感謝します。あなたは私の神、私はあなたをあがめます。

118:29 主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。

●ポイント2. 感謝出来ないことを感謝するには？

※ローマ書8章28節および31節～32節「パウロの確信」(新約p.277上段)

8:28 神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。

8:31 では、これらのことからどう言えるでしょう。神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。

8:32 私たちすべてのために、ご自分の御子をさえ惜しまずに死に渡された方が、どうして、御子と一緒にすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがありましょう。

●ポイント3. キリスト・イエスにあって神様が望んでいることは？

※ピリピ人への手紙4章4節「パウロによる再々の勧め」(新約p.355上段)

4:4 いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。

※ヨハネの黙示録3章20節「ラオデキヤ教会御使いへ」(新約p.441下段)

3:20 見よ。私は、戸の外に立ってたたく。だれでも、私の声を聞いて戸をあけるなら、私は、彼のところには行って、彼と共に食事をし、彼も私と共に食事をする。

※ヨハネの福音書4章23節～24節「主イエス様の言葉」(新約p.164上段)

4:23 「しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。

4:24 神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」

◎先週のメッセージの概要【2020年標題聖句そのⅡ(17節)】

《先週は、5章16節『いつも喜んでいなさい』について、共に考えて見ました。今日は、17節の『絶えず祈りなさい』について学んで行きましょう。

イエス様は良く祈られました。マルコはそのことを書き記しています。朝早くそして夕方にも、一人寂しい場所や山に行かれて祈られたのです。

祈りとは、創造主なる神様との交わりを指します。イエス様は、一人退ぞかれて、父なる神様と話し合われたのです。一方通行ではなく、お互いに意見と思いを分かち合われました。これこそが本当の祈りなのです。

私たちは、この祈りの形を、アダムとエバと神様との関係の中に見ることが出来ます。この神様は、顕現のイエス様であると言われていています。『そよ風の吹く頃、彼らは園を歩き回られる神である主の声を聞いた。それで人とその妻は、神である主の御顔を避けて園の木の間身を隠した。神である主は人に呼びかけ、彼に仰せられた。「あなたは、どこにいるのか。」彼は答えた。「私は園で、あなたの声を聞きました。」』

この場面は、ふたりが「知識の木」の実を食べてしまった時のことです。彼らが罪を犯すまでは、神様と麗しい関係であったことが分かります。神様は、人格と人格との交わりをする為に、私たち人間を造られたのです。

さて、祈りには三つのパターンがあります。一つは、願い事の祈りです。そして二つ目は、他者の為の取りなしの祈りです。

「あなたがたは、互いに罪を言い表わし、互いのために祈りなさい。義人の祈りは働くと、大きな力があります。」

そしてもう一つは、賛美と感謝の祈りです。「私たちはキリストを通して、賛美のいけにえ、すなわち御名を讃えるくちびるの果実を、神に絶えず捧げようではありませんか。」

最後に「絶えず祈りなさい」とは、どのようなことでしょうか。それは、「目を覚ましていなさい」と言うことです。何時でも、主の御声を聞くことが出来る様、目を覚ましていることこそが、絶えず祈ることなのです。》

◎お知らせ

※本日は午後礼拝はありません。また次回礼拝は1月26日(日)です。通常通りに行ないます。次回「聖書の学びと祈り会」は、1月22日(水)です。